

機能連携広域経営推進調査事業に関する委託事業(団体)一覧

番号	都道府県	市町村	事業名	事業概要	事業額 (千円)
1	北海道	帯広市	十勝地域機械製品開発ツール整備普及事業	基幹産業である農業生産や食品加工の分野における機械装置の開発を促進するため、設計作業を自動化するための機器や3Dプリンタなどの機械製品開発ツールを試験的に導入し、技術者の人材育成や事業者による利活用を図ることで、圏域内のものづくり産業の競争力強化と雇用機会の拡大を目指す。	20,145
2	青森県	八戸市	八戸ワイン産業創出プロジェクト	国内需要の減少により、地域の農業経営を支えていた葉たばこの生産縮減に対応していくため、気候及び土壌適応性の高いぶどうの生産と、国内市場が拡大傾向にあり産業として裾野の広いワインの製造を新規展開させていくことにより、新たな産業の創出による地域経済の活性化及び雇用の創出を目指す。	31,253
3	三重県	いなべ市	グリーンツーリズムの推進に向けた地域の拠点づくり	圏域の豊かな自然や農業などの地域資源を活かしたグリーンツーリズムを進めるため、その拠点とする空き家・未利用施設の選定や、地域の課題・潜在的観光資源について現地調査、有効活用に係る検討を産学金官民など幅広い関係者と連携して行い、地域の産業振興と雇用の創出に向けた計画を策定する。	20,040
4	佐賀県	唐津市	唐津コスメティック天然原料開発プロジェクト	世界最大の化粧品産業集積地であるフランスのコスメティックバレーとの連携を基盤に、唐津市及び玄海町の圏域における化粧品関連産業の集積を図る「唐津コスメティック構想」を実現させるため、地元企業による圏域産の天然原料の開発・商品化を目指し、原料サンプル製造に必要な機械装置の設置や原料化試験、さらには今後も拡大するアジア市場へ輸出するためのビジネスモデル構築のための調査・検討を行う。	23,540
合計					94,978

【北海道・十勝地域】

「十勝地域機械製品開発ツール整備普及事業」

圏域市町村(19団体)	圏域人口(H22国調)	事業額(千円)
帯広市・音更町・士幌町・上士幌町 ・鹿追町・新得町・清水町・芽室町 ・中札内村・更別村・大樹町・広尾町 ・幕別町・池田町・豊頃町・本別町 ・足寄町・陸別町・浦幌町	348,597人	20,145
	圏域面積(H22国調)	
	10,827.63 km ²	

事業概要

基幹産業である農業生産や食品加工の分野における機械装置の開発を促進するため、設計作業を自動化するための機器や3Dプリンタなどの機械製品開発ツールを試験的に導入し、技術者の人材育成や事業者による利活用を図ることで、圏域内のものづくり産業の競争力強化と雇用機会の拡大を目指す取組。



○事業の内容

1. 機械工業製品の開発ツールの整備
 - ・CAE、3Dプリンタ、ひずみ測定器を整備
2. 開発ツール利活用の促進
 - ・CAE又は3Dプリンタを活用した、ものづくり実践事例プレゼンテーションセミナーの実施
 - ・CAE利用技術習得セミナー(導入編・応用編)等各種セミナーを開催。



3Dプリンタ
AGILISTA-3100

○事業の実施体制



十勝産業振興センター

- ・【事業統括】帯広市
- ・開発ツールの調達、整備
- ・セミナーの企画運営
- ・事業評価

【公設試】

公益財団法人とかち財団
(十勝産業振興センター)

- ・開発ツール導入拠点
- ・セミナーの開催
- ・技術指導
- ・受講者の募集

【公設試】

北海道立総合研究機構(工業試験場)

- ・技術指導
- ・受講者の募集
- ・技術相談

【金融機関】

帯広信用金庫

- ・事業周知への協力
- ・受講者の募集
- ・事業化に向けた融資相談

【大学】

帯広畜産大学

- ・技術指導
- ・受講者の募集

○取組目標

<平成26年度>

- ・プレゼンテーションセミナー受講者:計60名
- ・技術習得セミナー:計10名
- ・3Dプリンタ実技講習会:6名
- ・技術習得者数:各機器につき5名
- ・利活用件数:5件

<平成27年度以降>

- ・セミナー継続により、中小企業の技術習得を促進するとともに、他事業者との商談機会を提供する。



セミナーイメージ

【青森県・八戸地域】 「八戸ワイン産業創出プロジェクト」

圏域市町村(8団体)	圏域人口(H22国調)	事業額(千円)
八戸市・三戸町・五戸町・ 田子町・南部町・階上町・ 新郷村・おいらせ町	335,415人	31,253
	圏域面積(H22国調)	
	1,346.66km ²	

事業概要

国内需要の減少により、地域の農業経営を支えていた葉たばこの生産縮減に対応していくため、気候及び土壌適応性の高いぶどうの生産と、国内市場が拡大傾向にあり産業として裾野の広いワインの製造を新規展開させていくことにより、新たな産業の創出による地域経済の活性化及び雇用の創出を目指す取組。



○事業の内容

1. ぶどう栽培に関する調査研究

・青森県で生産されているメルロー等4種類のぶどう及びその他の県外品種を使用し、市内の農業生産団体(根岸観光農園等)と連携して植栽を実施し、ワイン用ぶどうの生産調査を実施。

2. ワイン醸造・文化創出に関する取組

・圏域農家を対象としたワイン醸造講習会等を実施し、今後の醸造に向けた課題の抽出・解決策を検討するとともに、ワイン交流イベントを開催し、圏域のワイン文化創出を図る。

○取組目標

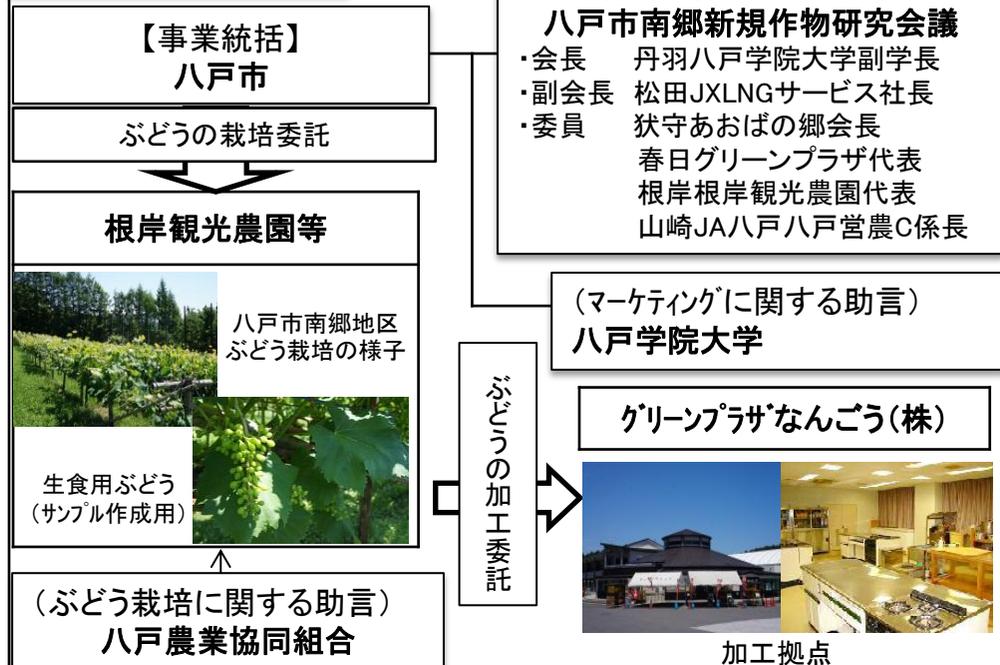
<平成26年度>

- ・ぶどうの生産面積の増加 H25年度 0ha→H26年度 1ha
- ・ぶどう生産及びワイン醸造等に関わる雇用者 5人創出

<平成27年度以降>

- ・H29までにぶどう栽培の生産体制を確立
- ・ワインの醸造量 H29年度 1.8kl → H30年度 4.5kl → H31年度 6kl
- ・雇用者創出 H31年度までに延べ35人の雇用を創出

○事業の実施体制



(調査全体に対する助言)
八戸市南郷新規作物研究会議
 ・会長 丹羽八戸学院大学副学長
 ・副会長 松田JXLNGサービス社長
 ・委員 狛守あおばの郷会長
 春日グリーンプラザ代表
 根岸観光農園代表
 山崎JA八戸八戸営農C係長

(マーケティングに関する助言)
八戸学院大学

グリーンプラザなんごう(株)



加工拠点



(ぶどう栽培に関する助言)
八戸農業協同組合

ぶどうの加工委託

【三重県・員弁地域】 「グリーンツーリズムの推進に向けた地域の拠点づくり」



圏域市町村(2団体)	圏域人口(H22国調)	圏域面積(H22国調)	事業額(千円)
いなべ市・東員町	72,021人	242.2km ²	20,040

事業概要

圏域の豊かな自然や農業などの地域資源を活かしたグリーンツーリズムを進めるため、その拠点とする空き家・未利用施設の選定や、地域の課題・潜在的観光資源について現地調査、有効活用に係る検討を産学金官民など幅広い関係者と連携して行い、地域の産業振興と雇用の創出に向けた計画を策定する取組。

○事業の内容

豊かな自然や農業などの地域資源を活かし、観光客と地元住民の交流を図るグリーンツーリズムを確立していくため、

- 1. 拠点となる空き家・未利用施設の選定**
・観光客が活動・宿泊するための拠点について調査 等
- 2. 地域課題・地域資源発掘に係る調査・検討**
・京都産業大学の学生を主体として、外部人材や地域住民と連携して、地域の課題や資源の洗い出し 等



空き家の状況(古民家)



農業体験

○グリーンツーリズム推進計画の策定

- ・平成27年度以降に実施していく具体的な取組に係る計画を策定



圏域の豊かな自然(藤原岳)

○取組目標

- <平成26年度>
 - ・拠点とする空き家・未利用施設の選定数: 2箇所
 - ・大学の地域活動日数: 15日、地域課題への協力日数: 15日
- <平成27年度以降>
 - ・26年度に策定した計画をもとに7事業を実施

○事業の実施体制

グリーンツーリズム推進検討委員会
【◎検討委員 ○オブザーバー】

【事業統括】
いなべ市 ◎



検討委員会



里の旅プランナー
活動風景

【近隣市町村】東員町 ○

【大学】京都産業大学 ○
・空き家などの有効活用の検討、潜在的観光資源の発掘及び地域課題調査
・検討委員会への報告・情報共有

【地元企業】農事組合法人、飲食店など ◎

【アドバイザー】外部人材など ○
・専門的知見による助言など
・地域活性化計画策定

【住民】地域住民、里の旅プランナー※ ◎
※地域の宝を磨きあげて、集落のためのプログラムづくり、観光のまちづくりを担う人たち。

【佐賀県・唐津地域】

「唐津コスメティック天然原料開発プロジェクト」



圏域市町村(2団体)	圏域人口(H22国調)	圏域面積(H22国調)	事業額(千円)
唐津市・玄海町	133,305人	523.49km ²	23,540

事業概要

世界最大の化粧品産業集積地であるフランスのコスメティックバレーとの連携を基盤に、唐津市及び玄海町の圏域における化粧品関連産業の集積を図る「唐津コスメティック構想」を実現させるため、地元企業による圏域産の天然原料の開発・商品化を目指し、原料サンプル製造に必要な機械装置の設置や原料化試験、さらには今後も拡大するアジア市場へ輸出するためのビジネスモデル構築のための調査・検討を行う取組。

○事業の内容

- 1. 原料サンプル製造に必要な機械装置の設置**
 - ・農林水産物を原料状にする一次加工用機械装置(15台)の設置
- 2. 特色ある天然素材を活用した原料サンプルの製造と評価**
 - ・圏域の特色ある素材の探求
 - ・上記装置による原料サンプルの製造
 - ・化粧品関連メーカー等による成分分析・評価
- 3. 原料ビジネス戦略の策定**
 - ・原料市場の現状と課題の整理、市場開拓方策の検討、天然素材生産体制の検討、原料製造装置運用体制の検討
 - ⇒ビジネスモデルの提案を含めた、原料ビジネス戦略の策定

○取組目標

- ＜平成26年度＞
- ・市場競争力がある原料素材を2種類以上開発
 - ・原料ビジネス戦略の公表
- ＜平成27年度以降＞
- ・原料ビジネスモデルの構築及び推進体制の整備
 - ・上記戦略に基づき、化粧品関連企業等の増加及び雇用の創出

○事業の実施体制

